

【アドバイス等】

- ・今年度、策定されるという観光基本計画において、(自己分析シートにあげられている)ヘルスツーリズム、B級グルメ、産業観光、合宿等のスポーツツーリズムの位置づけと振興戦略の明確化が望まれる。富士山の眺望、広大な山麓の土地の広がり、温暖な気候、恵まれた「水」資源等々、これらに関連づけた観光振興テーマ、方向性の確立が課題であろう。
- ・裾野単独での観光振興には限界があると思われるため、東富士というブランド力のある広域エリアイメージを高め、知名度のある御殿場を活かしながら連携していくことが、観光振興の最も近道であると考えられる。
- ・観光推進の機運作りが先決のような印象。富士山という絶対的な観光資源があり、既存の観光施設の連携などから取り組んでみては。
- ・目玉の富士サファリから周辺への面としての広がりへの仕掛け作業が必要と考える。
- ・富士サファリ、遊園地グリーンパ、スキー場イエティがメインの資源のようであるが、この資源を活用した上での着地型資源の生かし方を考える視点が必要。
- ・絶大な集客力のある富士サファリパークに来た客の帰りの動線(道すじ)に、土産物や産直市場の大きな立ち寄りステーションを設けてはどうか。和歌山県白浜町「とれとれ市場南紀白浜」は、漁業共同組合が運営する西日本最大級の海鮮マーケットであり、白浜のアドベンチャーワールド帰りの客が必ず立ち寄り、買い物をされる。それに似た仕組みを展開できないだろうか。
- ・ビジョンもしくは成りたい姿を意識共有した上で、観光資源、素材の棚卸しを行い、まずは富士サファリパークとぐりぱの何れかとのセット売りが望ましいと思う。このセット売りは結果的に宿泊を促す事になると予測されるため、大変楽しみな取り組みとなると思われる。